



平成 27年 5月 15日

各 位

会 社 名 日本プラスチック株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 須藤 亘
(コード番号 7291 東証第二部)
問 合 せ 先 執行役員経営企画室長 新浜 隆則
電 話 番 号 0544-58-9080

業績予想値と決算値との差異及び営業外費用計上に関するお知らせ

平成 26年 5月 12日付「平成 26年 3月期 決算短信」にて公表しました、平成 27年 3月期の連結業績予想及び、平成 26年 12月 26日付「通期個別業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました、通期個別業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、平成 27年 3月期における下記の営業外費用の計上につきまして、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 27年 3月期 連結業績予想数値と実績数値の差異

(1) (平成 26年 4月 1日～平成 27年 3月 31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 123,000	百万円 3,500	百万円 3,300	百万円 1,700	円銭 137.36
実績 (B)	123,325	2,915	3,156	2,388	179.79
増減額 (B-A)	325	△584	△143	688	—
増減率 (%)	0.2	△16.6	△4.3	40.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26年 3月 期)	116,756	1,480	1,632	1,052	75.66

(2) 業績予想値との差異が生じた理由

平成 27年 3月期の連結業績につきましては、売上高は日本、中国、アジア地域では減産となったものの、北米での増産により打ち返し全体では 0.2%の増収となりました。

利益面では、日本、アジアでの自動車販売不振の長期化による減産影響に加え、北米では回復基調にあるメキシコ子会社の回復タイミングの遅れにより、予想を下回る結果となりました。

当期純利益では、子会社株式評価損の税務上の損金算入等により、予想を上回ることとなりました。

2. 平成 27 年 3 月期 個別業績予想数値と実績数値の差異

(1) (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 40,600	百万円 700	百万円 100	円銭 8.04
実績 (B)	40,416	508	548	41.15
増減額 (B - A)	△183	△191	448	—
増減率 (%)	△0.4	△27.3	448	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月 期)	46,658	871	119	8.52

(2) 業績予想値との差異が生じた理由

平成 27 年 3 月期の個別業績につきましては、売上高は得意先の減産影響により減収となり、経常利益は子会社受取配当金の増額はあったものの、メキシコ子会社の貸倒引当金増加や減収影響を合理化で吸収できず、予想を下回る結果となりました。当期純利益は子会社株式評価損の税務上の損金算入等により予想を上回ることとなりました。

3. 営業外費用の計上について (個別)

当社の関係会社貸付金について、貸付先の財政状態及び経営成績等を精査し、関係会社貸倒引当金繰入額 2,837 百万円を営業外費用として計上しました。
尚、本件につきましては当社個別のものであり、連結決算では相殺消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

以 上